

第15回 TOTO水環境基金 (海外) 応募書記入要領

2019年8月
TOTO株式会社

1. 応募方法

■ 応募〆切は **10月18日(金)** です。(当日消印有効)

■ 応募書フォームを前回から修正しています。
TOTOホームページからダウンロードしてください。

<https://jp.toto.com/company/csr/environment/mizukikin/spirit/thought.htm>

■ 手書きでも構いませんが、選考委員が読みやすいように記入をお願いします。

■ 郵送でのみ受け付けます。
(電子メール、FAX、直接持込みは受け付けません。)

■ 詳細はTOTOホームページに掲載の「助成団体募集のご案内」を確認ください。

<https://jp.toto.com/company/csr/environment/mizukikin/spirit/thought.htm>

第15回
TOTO 水環境基金
助成団体募集のご案内

応募期間
2019年8月9日(金)～2019年10月18日(金)

助成期間
(国) 2020年4月1日(水)～2023年3月31日(金)
(海) 2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)

助成総額
2,660万円
(国) 1件あたり上限 80万円/年×総額3年(最大240万円) (海) 1件あたり上限なし(300万円目安)

TOTOグループは、水まわりを中心とした、豊かで快適な生活文化を創造することで、社会の発展に貢献する企業を目指しています。持続可能な世界の実現のためには、TOTOグループの果たすべき役割である水技術の追求とともに地域の事情に精通し、地域を支える団体の活動が欠かせません。そこで、TOTOグループは2005年度に「TOTO水環境基金」を設立し、水にかかわる環境活動に継続して取り組む団体への支援を続けています。企業による一時的な物資や資金の支援だけではなく、団体を支援することで、持続的な発展を目指しています。

2. 応募書の記入要領

寄付番号 15-

海外助成

第15回 TOTO水環境基金 応募書
(助成期間: 2020年4月～2021年3月) 応募日: 2019年 月 日

※ 応募に関する連絡先をご記入願います。

応募に関する 連絡先	団体名			
	役員名		氏名	
	【書類送付先】 (ZasshiにOを付けてください) 個人宛て ・ 団体宛て			
	〒			
	住所			
	固定電話		携帯電話	
	FAX			
	E-mail			

※ 応募書に添付資料の添付は必須です。

添付資料 添付済みの書類に○	<input type="checkbox"/> 活動場所の位置図・現況写真(必須) <input type="checkbox"/> 2018年度収支決算・事業報告(2018年度以前に設立された団体は、必須) <input type="checkbox"/> 2019年度収支決算・事業計画(2019年度以前に設立された団体は、必須)
-------------------	--

1ページ

【連絡先】
日中連絡が可能な連絡先を記入ください。

※ 応募について、当社からの問い合わせ等の窓口となっていただけの方の情報をご記入ください。

【添付資料】(必須)

- ・活動場所の位置図・写真地図は、貴団体の活動への参加手段の参考などに使わせていただきます。
- ・直近2年間の収支決算・事業計画を添付願います。設立して2年以内の団体の場合は、提出できる年度からで構いません。

※ 上記以外の資料の添付はご遠慮ください。
(選考には使用されません。)

2. 応募書の記入要領

1. 応募の概要				
ふりがな				
プロジェクト名 ※25字以内				
活動地域	国名		地域名	
応募金額	2020年度		円 (A)	※4. 2020年度実施任務の「TOTO水環境基金応募金額」と同額を記入。

【応募金額】
 上限はありませんが、300万円程度を目安としてください。

2. 応募団体の概要と状況				
2-1. 応募団体の概要				
設立年(西暦)	年	活動開始年月(西暦)	年	月
法人格 ※必ずお記入	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 申請中			
種別 ※必ずお記入	<input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人(NPO法人) <input type="checkbox"/> 認定特定非営利活動法人(認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input type="checkbox"/> 一般財団法人 <input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> その他			
ふりがな				
団体名 ※正体を併記	(英語団体名) ※ある場合のみ			
代表者	役職名		氏名	◎
主たる事務所	〒 住所			

【団体名・代表者・住所】
 ※ ご応募に関する正式書類(合否連絡書類等)の送付先をご記入ください。

事務員スタッフ	常勤		非常勤	
	人数	人	人数	人
財政規模 (年間予算)	2018 収入	万円	2017 収入	万円
	2018 経常経費	万円	2017 経常経費	万円
	2018 経費削減	万円	2017 経費削減	万円
	2018 天恵	万円	2017 天恵	万円

【財政規模】
 過去3年分を記入ください。
 活動開始から3年未満の場合は記入できる年度から構いません。

2. 応募書の記入要領

受付番号 15-

3. 応募プロジェクトについて

3-1. 応募プロジェクトの概要

プロジェクトの全体像 (200文字以内(漢字)) ※詳細は3-5にて記入	
活動地域 <small>※別途、活動エリアが分かる地図を添付</small>	(所在地) (交通手段) 最寄公共交通機関() (空室) 上記からの所要時間: 車で(約) (分)
活動期間	期 年間活動は継続予定 ※未定・不明 ⇒ (理由:)
活動の分類 <small>※いずれかに記す ※複数選択可</small>	(活動内容) <input type="checkbox"/> 実践活動 <input type="checkbox"/> 啓発活動(環境教育等) <input type="checkbox"/> 調査・研究 <input type="checkbox"/> その他() (活動フィールド) <input type="checkbox"/> 居住地 <input type="checkbox"/> 滞在(山など) <input type="checkbox"/> 海・沼・池 <input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 等 <input type="checkbox"/> その他()
助成を必要とする理由 <small>※いずれかに記す ※複数選択可</small>	<input type="checkbox"/> 新規活動立ち上げ(スタートアップ) <input type="checkbox"/> 活動範囲の拡大(内容の拡充(スタートアップ)) <input type="checkbox"/> 新規設備投資・工事費 <input type="checkbox"/> イベント・講座実施 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他() 上記の内容を 以下に詳細に記す

3-2. プロジェクトの実施体制

氏名	役職	所属団体名など	プロジェクトに関する役割

3-3. プロジェクト実施にあたって協力や支援を受ける団体など
いずれかに記す あり ⇒以下に詳細を記入
 なし

団体名称/所属 氏名	協力・支援内容

4ページ

【プロジェクトの全体像】
プロジェクトの概要を簡潔に記入ください。
詳細な内容については、3-5にて記入いただきますので、その要約を記入ください。

【助成を必要とする理由】
今回の助成を必要とする理由を選択いただき、具体的な内容を簡潔に記入ください。

2. 応募書の記入要領

(注) 応募書 15-

3-4. 応募プロジェクトの事業計画・成果目標

(Plan) 成果目標(指標)は、植樹本数、CO₂削減量や設置した衛生設備数など、できるだけ定量的に数値化して記入してください。助成が決定した場合、活動結果報告書に成果を定量的に把握して記入してください。

2020年度	事業計画	
	成果目標(指標)	
将来的に目指す姿	事業計画	
	成果目標(指標)	

3-5. プロジェクト内容

5ページ

■ 応募プロジェクトの事業計画・成果目標
 2020年度の事業計画・成果目標、および応募プロジェクトによって将来的に目指す姿について記入ください。

※ 成果目標は、植樹本数、CO₂削減量や設置した衛生設備数など、できるだけ定量的に数値化いただくと評価につながりやすくなります。
 助成が決定した場合、「活動結果報告書」に成果を定量的に把握して記入いただきますので、予めご了承ください。

【プロジェクト内容】

- ・プロジェクトの背景と目的、活動内容や期待される効果などを記入ください。
- ・写真、絵、表などを貼り付けていただいても構いません。

※ わかりやすく、簡潔にまとめるようにしてください。
 (1ページ~2ページ程度)

2. 応募書の記入要領

3-8. 応募プロジェクトの2020年度実施スケジュール(助成年度の活動内容)

[Point1]「参加者数」の記入例:「一般型」には、地域住民(一般市民)の参加する活動がある場合にその参加見込数を記入ください。
 [Point2]「受益者数」には、活動によって利益を受ける人数を記入ください。月毎に把握出来ない場合は最下段に合計数を記入ください。

実施予定 年月	実施項目	参加者数			受益者数 (3桁)
		男性(2桁)	女性(2桁)	合計(2桁)	
2020年	(空欄)				
4月	(その他)				
5月	(その他)				
6月	(その他)				
7月	(その他)				
8月	(その他)				
9月	(その他)				
10月	(その他)				
11月	(その他)				
12月	(その他)				
2021年	(空欄)				
1月	(その他)				
2月	(その他)				
3月	(その他)				

- ※1 住民参加型の活動がある場合、住民の参加人数をご記入ください。(例:トイレを住民と一緒に建設する)
- ※2 住民の参加によって行われる研修や会議がある場合、住民の参加人数をご記入ください。(例:環境啓発セミナー、井戸管理運営会議)
- ※3 住民を対象とした衛生教育がある場合、住民の受講人数をご記入ください。(例:小学校児童を対象とした衛生教育授業)
- ※4 プロジェクトによって利益を受ける総人数をご記入ください。1人の受益要素が重複する場合は多い方の人数をご記入ください。(例:施設に非声を通ずる人数500名以上1000名の地域住民を対象とした衛生教育の受講者300名の場合 → 500名)

4. 応募プロジェクトの実施経費
 プロジェクト全体の総額として算定額(申請額)の内訳を記入ください。
 <助成対象外となるもの>
 1. 活動実施時以外の飲食代(講師・団体のスタッフのみでの飲食等)
 2. 専門性を伴わない(団体内で実施可能な)作業の外部委託費、資費ボランティアの20日当り
 3. マスク代
 4. その他、団体が助成対象として不適当であると判断した費用

■応募プロジェクトの2020年度実施スケジュール
 ・2020年度の具体的な活動や行事などを記入
 ください。

- <参加者数>
 (活動)住民参加型の活動がある場合、住民の参加人数をご記入ください。
 (例:トイレを住民と一緒に建設する)
 (研修)住民の参加によって行われる研修や会議がある場合、住民の参加人数をご記入ください。
 (例:環境啓発セミナー、井戸管理運営会議)
 (教育)住民を対象とした衛生教育がある場合、住民の受講人数をご記入ください。
 (例:小学校児童を対象とした衛生教育授業)

<受益者数>
 プロジェクトによって利益を受ける総人数をご記入ください。いくつかの受益要素が重複する場合は多い方の人数をご記入ください。
 ※月毎に把握出来ない場合は最下段に合計数を記入ください。

2. 応募書の記入要領

元付番号 15-

※ 実施経費については、Excel資料『(20年・20年共同)実施経費』での作成・提出可

※ 経費記入

4. 2020年度 実施経費 ※ 収入合計と支出合計は両欄はしてのまい(I = II)

収入	備考
TOTO水環境基金応募金額	⇒ 「1. 応募の概要」(A)と同額を記入
企業等自己資金	円
寄付金収入	円
補助金・他の助成金等収入	円
委託事業収入	円
前期繰越	円
収入合計(I)	円

※ 4. 2020年度 実施経費 は、Excel資料での提出もできます。

支出(プロジェクトに関わる全体費用)※			TOTO水環境基金応募金額・内容※	
科目	説明	金額	応募金額	内容および内訳・単価・数量
プロジェクト経費	備品費	印刷、道具など	円	円
	消耗品費	筆記用具、消耗品など	円	円
	広報費	一週間の新聞掲載費など	円	円
	印刷製本費	申請書等の印刷製本費	円	円
	賃借料	会場、印刷、印刷機などの賃借料	円	円
	旅費交通費	出張費、交通費	円	円
	通信費	郵便料、宅電料など	円	円
	建築工事費	専門業者による工事	円	円
	保険料	火災保険料	円	円
	顧問謝金	顧問料	円	円
	調査費	専門家に係る調査費	円	円
	その他	上記以外に必要経費の記入	円	円
計		円	円	
団体・組織運営経費	事務所費	家賃、水道費など	円	円
	人件費	事務スタッフの給与など	円	円
	その他	上記以外に必要経費の記入	円	円
計		円	円	※ 応募金額の20%以内で申請可能
支出合計(II)		円	円	⇒ 「1. 応募の概要」(A)と同額を記入

【支出】
 ・各費目について、プロジェクト全体でかかる金額と、そのうち「応募金額」で支出する金額をそれぞれ記入し、「応募金額」の「内容および内訳・単価・数量」を記入してください。

【団体・組織運営経費】
 応募金額の20%以内(※)まで含めることができます。組織の基盤強化にご活用ください。

※ プロジェクト全体の費用と、その中で助成金を使用する金額の差をここに記入(全て助成金を使用する場合は同じ金額となります。)

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO